

令和5年度 国の予算・制度等に関する要望 実施報告

- | |
|--|
| 1 開催日時：令和4年10月7日（金）11：40～12：00 |
| 2 訪問先：自由民主党東京都支部連合会 |
| 3 参加者：梶山理事長、榎本副理事長、野口副理事長、横田幹事長、高橋事務局長 |

対応議員：衆議院議員 山田美樹、平将明、越智隆雄、鈴木隼人、土田慎、小田原潔
参議院議員 片山さつき（途中入室）

最初に、梶山理事長から平将明政調会長に要望書が提出された。

その後、平将明議員からの挨拶、政連理事長挨拶の後、政連側の要望説明が横田幹事長から行われ、以下の内容について意見交換を行った。

【意見交換】

（山田議員）

最低賃金と社会保険適用拡大について、最低賃金が高くなることで103万、130万円の壁を超えることを懸念している団体もあったが、それによる年末や年度末の人手不足の懸念について、ビルメン業界はどうか。また、特定技能も含めて、外国人労働者についてどのような状況か教えてほしい。

（横田幹事長）

103万の壁問題もあるが、当業界では週20時間の方を重要視している。社会保険料を支払うことで減収となると従業員が困る。企業によっては、週5日4時間ではなく、1日だけ3時間にして調整することもある。そのため、慢性的に人手不足が続いているという認識もある。

（梶山理事長）

特定技能については、各企業が採用の努力をしており、弊社では現地法人を設立して現地で教育も行っている。しかし、受け入れる際にフィリピン政府側の問題でイミグレーションが通らずに現地で待機しているような状況であるため、困っている。

（平議員）

特定技能推進派である。人口減少解決のためには海外の人材活用は必要で成長戦略として作成したが、法務省管轄になり、その他にも円安による影響も出ているので、見直す必要がある。今後も情報をいただきたい。

（梶山理事長）

例であるが、シンガポールでは労働移民を5か国から優先的に受け入れている。日本ではそれを特定技能として受け入れようとしている。

(平議員)

自党内でも推進派と慎重派がいて、「移民」という言葉に拒否反応を起こす層もあり、苦肉の策として特定技能としている。今後はこれを拡充するのが必要なので、我々だけでなく、皆様からも引き続きご意見をいただきたい。

(越智議員)

最賃上昇を見越した計上については価格転嫁の話になるが、まだ機能していないのかどうかを聞きたい。また、円安による外国人労働者の賃上げはあり得るのか。円安になって外国人労働者が日本に来ることを避けているような実態はあるのか。

(梶山理事長)

日本に来たいという意見が多いです。

(横田幹事長)

最後に、省庁統一資格については20年以上変更されておらず、売上高重視となっていますが、業種に関わらない総売上が基準となっていることが一番の問題であると考えます。業種ごとの売りに上げるのが難しいのであれば、先ほどの障害者雇用だけでなく時節に沿った基準となるよう働きかけてほしい。

(平議員)

担当している部署は内閣官房なので、話をしておきます。

